

昭和26年2月5日

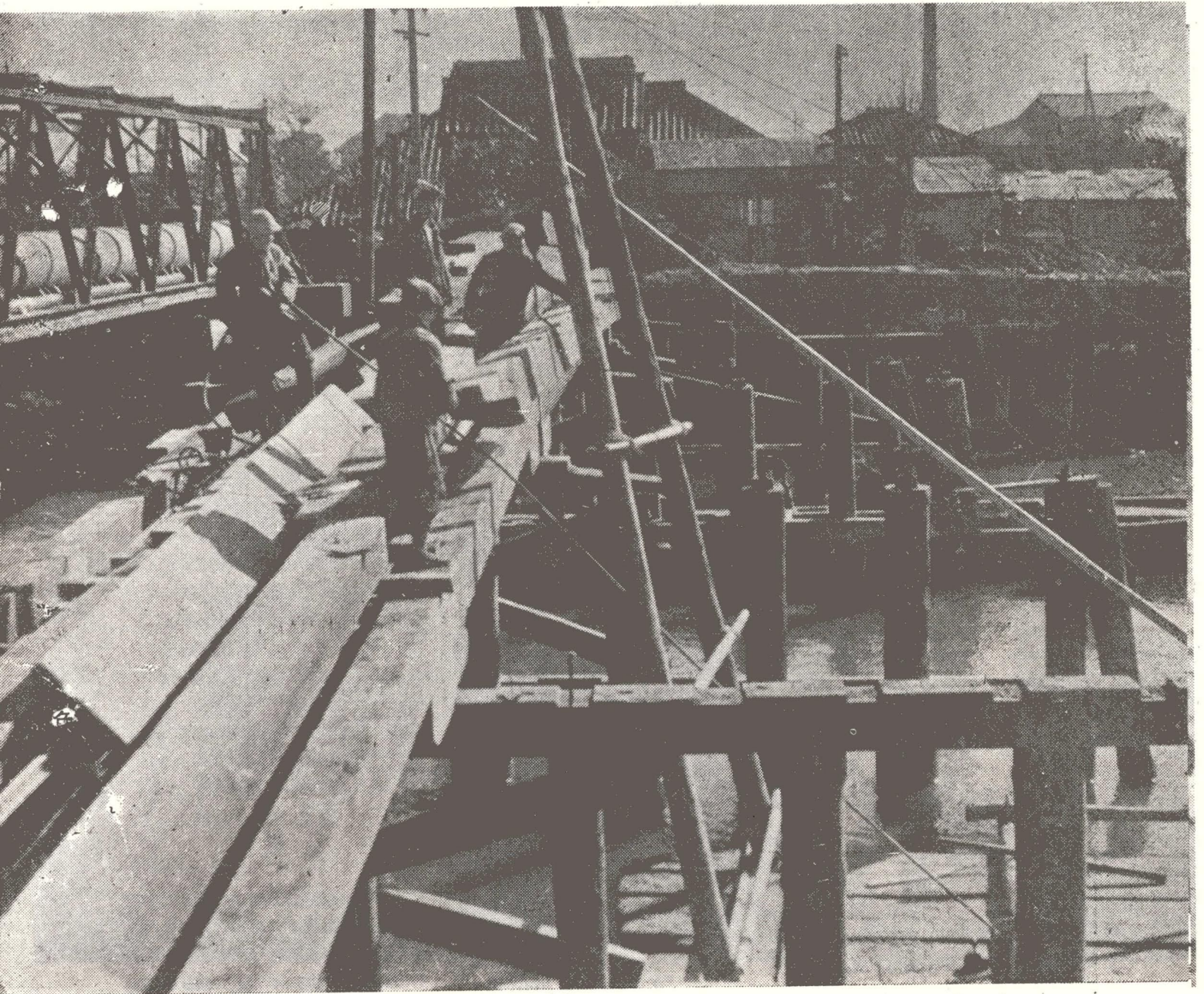


第41號

足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

發行所 千住1/50
 東京都足立区役所
 北島十吉
 編集 集
 總務課文書係
 浅草 044015
 足立 { 3115
 東京都足立区千住2/55
 巧文社印刷所(織田)
 電話足立 { 3406
 3767



区内の橋梁は大小合わせて979橋あるがその内木橋が471橋でこの内約半数は改築又は補修によつて面目を一新した。残余の半数は何れも壽命のな

いものばかりで修繕なり改築なりをせねばならないが高額の工事費を要する關係上區では重要な橋から徐々に改築を実施している。なお現在補修中の橋

は千住環町綾瀬橋の修繕と新國道梅島陸橋の高欄復舊工事である。工費—綾瀬橋……1、533、100円 梅島陸橋……581、000円

(寫眞は綾瀬橋の復舊工事現場)

昭和25年度執行の 足立区の賄ふ予算について

区の行政を円滑に遂行し区民各位の福利増進を計るため本区で行っている仕事行政事務は多種多様であります。要約しますと中學校、小學校、養護學園等の學校教育、区民の体位向上、青少年の輔導、視覚教育、区立圖書館の經營等の社會教育事業、治水対策、道路橋梁、下水道の維持修繕等の土木事業、住宅建設、地代家賃統制事務その他の建築事業、生活困難者の扶助、生業資金の貸付、児童の育成、生活協同組合の指導、社會事業團體の助成、区營浴場や共同作業所、保育園等の民生事業、生活必需品の配給及び登録事務、区内商工業の振興対策、農産物獎勵対策及び農業技術指導、主要食糧の増産、虫害の防除その他農業協同組合の指導等の産業經濟、戶籍事務人口動態調査、各種の選挙事務、区税の適正を計り納得して納め得る区税であるため納税対策、貯蓄獎勵等々各種の事務や事業を行つて居ります。

この様にいろいろの仕事をするために必要な経費(豫算)も又莫大な金額に達して居り、これ等の仕事や経費については、度々本紙で御報告も致し又区公報やその他あらゆる機会に公表して居りましたから皆様にはすでに御承知の

こと、と思いますが、新地方税法の制度により地方公共團體の財政面が充實され區税より地方税に重点が置かれました。今更に一層の關心を持たれて居ることと存じますので、今回は本区で賄つて居る豫算(昭和25年度1月1日現在)について御報告致します。

ではこの内容と、それぞれの経費(豫算)が、1世帯當り又は、1人當り何程の金額に當るか計算して見ると別表の通りであります。この表は豫算の性格上区經濟と都經濟に大分け致しました。区經濟とは本区に直接収入になる区税及び使用料手数料その他都からの交付金等の財源で賄う豫算で、都經濟は都が本区内で行う仕事を都にかまつて行うよう依頼されこれに必要な経費を都が委任してよこす豫算であります。区はこの二本建の豫算で前述したいろいろの仕事を行つて居ります。

以上足立区が賄う豫算について概要を申し上げましたが今後とも機会あるごとに皆様の御参考になる資料を作り御報告いたす考えで居りますが区民各位には充分本区財政について御検討下され積極的御指導と御鞭撻をお願ひ致します

足立区役所經理課

各別1世帯當額及び人口1人當額比較表

種別(科目)	区 豫算	經濟		都經濟執行委任額			合計			順位	備考	
		1世帯當 人口當額	1人 當額	豫算額	1世帯當 人口當額	1人 當額	豫算額	%	1世帯當 人口當額			1人 當額
1. 区議會費	11,520	182.57	42.08	0	0	0	11,520,706	1.8	182.57	42.08	7	1. 本表は豫算科目を基礎とし各種別に分類比較の便とした。 2. 豫算額は25年1月1日現在である、従つて年間額は更に増加する。 3. 世帯及び人口は25年1月1日の本区の世帯及び人口である。 イ世帯 ロ人口 4. 1世帯當額及び人口1人當額順位は四捨五入した。 5. 合計豫算額の%は都区豫算合計總額に對する各種別合計豫算額の割合である。
2. 区役所費	9,470	150.10	34.59	0	0	0	9,471,309	1.5	150.10	34.59	8	
3. 出張所費	1,237	19.50	4.49	0	0	0	1,230,737	0.2	19.50	4.49	18	
4. 戶籍事務費	870	13.84	3.19	0	0	0	873,300	0.1	13.84	3.19	19	
5. 統計費	520	9.4	2.2	2,035,635	32.26	7.43	2,095,055	0.4	33.20	7.65	16	
6. 土木事業費	22,768	360.80	83.15	7,831,690	124.11	28.60	30,599,008	4.8	484.91	111.76	6	
7. 建築事業費	2900	4.67	1.08	2,943,216	46.64	10.75	3,237,816	0.5	51.31	11.83	11	
8. 労働費	0	0	0	47,477,409	752.39	173.40	47,477,409	7.4	752.39	173.40	4	
9. 教育費	135,559	2,148.15	495.07	123,124,856	1,951.20	449.68	258,677,205	40.5	4,099.35	944.76	1	
10. 民生事業費	3,452	54.72	12.61	131,470,361	2,083.46	480.16	134,923,213	21.1	2,138.18	452.77	2	
11. 産業經濟費	1,868	29.54	6.81	351,164	5.57	1.28	2,215,322	0.3	35.10	8.09	15	
12. 消防費	900	14.26	3.29	1,914,684	30.34	6.99	2,814,684	0.4	44.61	10.28	13	
13. 選挙費	2,887	45.73	10.54	0	0	0	2,885,407	0.5	45.73	10.54	12	
14. 徴税費	5,260	83.46	19.24	3,314,183	52.52	12.10	8,580,784	1.3	135.98	31.34	9	
15. 會館建設準備費	2,050	32.49	7.49	0	0	0	2,050,000	0.3	32.49	7.49	17	
16. 配付税返還金	39,310	623.10	143.60	0	0	0	39,319,000	6.2	623.10	143.60	5	
17. その他	2,439	38.60	8.90	3,681,379	58.34	13.45	6,116,858	0.9	96.94	22.34	10	
18. 2から17までの事務事業執行のための職員費	66,240	1,049.84	241.95	5,295,771	83.92	19.34	71,543,061	11.2	1,133.77	261.29	3	
19. 豫備費	2,400	38.19	8.80	0	0	0	2,409,550	0.4	38.19	8.80	14	
計	308,606	4,890.50	1,127.09	329,440,348	5,220.76	1,203.20	638,040,424	100.10	1,111.26	2,330.29		

豫算種別内容説明

種別	区經濟豫算内容	都經濟豫算内容
1. 区議會費	議員報酬及び費用弁償、常任委員費、特別委員費、議會運営費、書記給料その他	—
2. 区役所費	区行政事務執行に要する需用費、本所支所廳舎營繕費、職員福利厚生費その他	—
3. 出張所費	19ヶ所の出張所事務執行に要する需用費及び廳舎營繕費	—
4. 戶籍事務費	本籍簿、寄留簿、戸籍簿等の調成費、その他戶籍事務経費等	—
5. 統計費	統計機構整備事務費、人口動態調査費	國勢調査費、學事統計費、農林水産統計費人口動態調査費
6. 土木事業費	道路橋梁改修及び補修費、排水は在來下水維持修繕費、水害緊急處理費、その他土木行政経費	区經濟と同じで露店整理費を加え、土木行政経費を除く
7. 建築事業費	住宅建築展示會費、融資住宅借費、建築統計調査費、その他建築行政経費	都營住宅建築費及び維持管理費、地代家賃統制費、建築指導費、その他
8. 労働費	—	失業對策事業による就業者の賃金及び事務費
9. 教育費	中小學校、養護學園、夏季臨海學園、完全給食實施、校舎増改築費、教員住宅増設等の學校教育費及び圖書館、区營運動場、区民運動會、青少年輔導、視覚教育等の社會教育費	中小學校教員の給料等の基本給及び超過勤務手当、出張旅費、教員の恩給、教科書展示會費、教職員資格認定講習會費その他

10. 民生事業費	民生館所の事務執行費、民生委員費、災害應急對策費、その他等の保護事業費及び児童不買化防止費、生活協同組合指導費、社會事業團體助成費、共同作業所費等の福祉事業費	生活扶助、住宅扶助、教育扶助、醫療扶助等の扶助費及び民生委員費、保育園費、児童育成費、生業資金貸付金その他
11. 産業經濟費	区内製品展示會費商店會振興獎勵費、飲食營業許可事務費、その他商工振興費及び生活必需品登錄配給事務費、農業調整委員費、農業技術指導費、増産獎勵費農地委員費その他	物價監視委員費、物資登錄配給費、虫害防除費、農業協同組合指導費、供出者勵費その他
12. 消防費	消防委員會費、千住、西新井兩消防團費	区經濟に同じ
13. 選挙費	選挙管理委員會費、參議院議員及び都教育委員選挙執行費	—
14. 徴税費	納税獎勵對策費、特別区税、自轉車税、荷車税その他の区税等の徴收事務費	都税徴收事務費(税法改正前の区取扱分)
15. 會館建設準備費	区政振興のための會館建設費積立金	—
16. 配付税返還金	新税法制定による都からの配付税額の返還金	—
17. その他	区政振興費、監査委員費、議員待遇者會費、区報費、貯蓄獎勵費	退職職員の恩給退職料、退職給與金建物疎開整理費
18. 2から17までの事務事業執行のための職員費	職員の給料等の基本給及び超過勤務手当、出張旅費等の人員費	職員の給料等の基本給の人員費
19. 豫備費	—	—

食糧の増産に寄與

足立区水稻競作供進會賞狀授與式

1月20日午後1時半から水稻多收穫競作供進會賞狀授與式が足立産業會館で行われた。經濟課長の開會の辭に引き續いて、別項の如き都農事試験場長の審査報告、供進會長（足立區長）の挨拶その他來賓の祝辭の後、受賞者代表山崎鐵五郎氏の答辭があつて閉會、多收穫に關する意見交換會に移つて午後4時散會した。

これより先GHQのミス・ウイルソン。ミスコーリングが來區、日本の農家と農耕の實地について見學のため一ツ谷、西加平方面の農家を視察、ミス・ウイルソンはその感想を合理的に整然とした農業であると語つた。審査報告（都農事試験場長松原茂樹氏）出品は一枚田のものが多かつたが場所により二枚田のものもあつた。これは土地により品種が選ばれるためであるが、足立区の今年の一等は一反歩當り約3石8斗、朝日新聞主催の都下の最多收穫高は約3石7斗1升で、ここにも足立區農民各位の眞剣な土地と品種に關する研究か思われて心強いことである。都で獎勵する品種、必ずしも



土地に合う譯ではないから、今後とも一層の研究と努力をまつ次第である。共進會長（大山區長）挨拶要旨本日都農地課長初め多數來賓の臨席をみたことは共進會長として誠に感謝する次第であります。審査會長の言つたごとく限られた土地からは品種の研究と改良なくして増産はのぞめない。この点、都下第一の産米供出量を有している足立區の農民各位は充分に意を注がれたい。

受賞者

- 1等 山崎鐵五郎 普賢寺町
- 2等 石鍋 通夫 竹の塚町
- 須賀 博藏 保木間町
- 富岡市三郎 小右衛門町
- 相原福太郎 普賢寺町
- 3等 谷古宇勝五郎、金澤林藏、清水秋藏、矢萩守作、小金井敏夫、田口鶴吉、伊藤桃司、平塚政吉、新井喜一、石鍋初太郎

◎新入学兒童の父兄におしらせ

- 1、本年4月1日小學校へ入學する兒童は昭和19年4月2日から昭和20年4月1日までに生れたものです
- 2、區役所から就學通知書が送付されますが、この通知書を受取られない方は
區役所 {本所～教育課學事係
支所～庶務課庶務係} に申出て下さい
その際米の通帳と印鑑持参のこと

電力の節約に御協力下さい

すでに新聞ラジカ等で御承知のことと思いますが、電力の供給が低下しがちになるのにひきかえ需要が最近著しく増加し屢々計畫停電の危機を招来しておりますが各方面からの要望もありこの際一層の節電協力をお願い致します。

- 日没後3時間は電熱器アイロン等出来るだけ使わぬこと
- 晝間電灯はつけないこと○農村などでは仕事の段取りにより日没後3時間はモーターを使わぬこと
- 事務所等では電熱器は出来るだけ使わぬこと

明るくなつた江北橋

江北橋は従來北區役所で管理せられておつたが今回足立區民の要望により當區で管理する事になつた。そこでこれを機會に今まで消灯のまま放置されてあつた橋梁灯を復舊し24基点灯することになつた。これにより夜道は危いという通行者の危惧も解消されると同時に五色櫻の復活運動が叫ばれている昨今、夜の江北に一つの美觀を添えることになつた。なお参考のため江北橋の全長は441、45米有効幅員7、14米であることを附記しておく。

良くなる道路

新舊國道の路面舗装進む

本紙第35號で路面補修のため道路掘鑿の制限をお知らせした島根新道と保木間舊國道の路面舗装工事は目下請負と直營で鋭意下記の通り施工中である。

- 1、島根新道（指定府縣道第25號線）
請負者 渡邊組
請負額 1、198、000圓
（外 現品支給額435、000圓）

竣工豫定 昭和26年3月26日
補修内容 簡易瀝青乳劑舗装
西新井警察署寄り東武電鐵踏切から小右衛門町巡査派出所附近まで

- 2、保木間町舊國道（府縣道第42號線）

請負者 中江建設工業株式會社
請負額 430、000圓
（外 現品支給額255、600圓）

直營 足立區役所土木課
工費 212木060圓
竣工豫定 昭和26年3月10日
補修内容

簡易瀝青乳劑舗装
保木間町小宮木橋から國道4號線水神交叉点まで

なお都直轄施行による西新井橋北詰から西新井町に至る千住一場ヶ谷道路の路面補修も現在着工中である。